

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第6週[2月8日～2月14日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

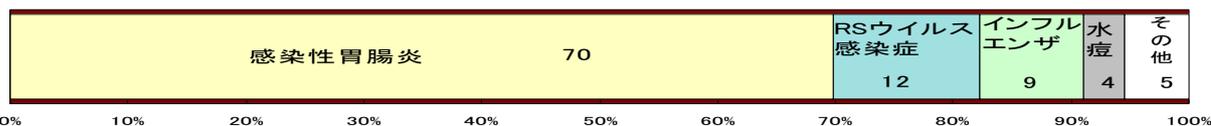
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：感染性胃腸炎

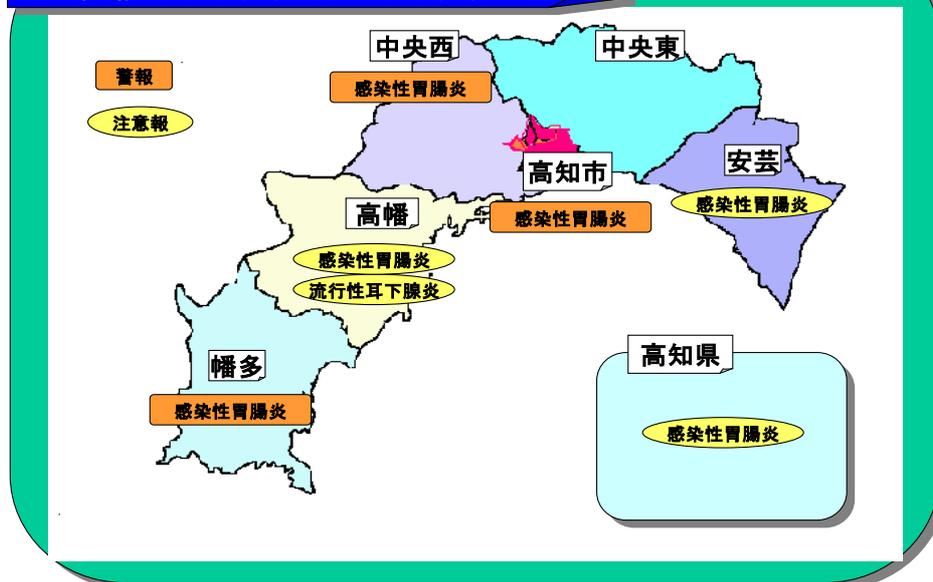
- 曇りや雨の日が多かったが、地域によっては20℃を超える日もあり、平均気温は上昇した。
- 感染性胃腸炎（幡多：注意報→警報，中央西：警報→警報，高知市：注意報→警報，高幡：注意報→注意報，安芸：警報→注意報）は安芸と中央東で減少したが，その他の地域で増加し，総数は引き続き増加した。
- インフルエンザは中央東ではやや増加したが，その他の地域で減少し，総数はさらに減少した。
- RSウイルス感染症は第1週以降増加を続けていたが，今週は減少に転じた。
- 水痘は高知市で3倍増となり，総数は前週の約1.8倍増となったが，例年と比較して低いレベルで推移している。

上位疾患構成図



地域別感染症注意報・警報発生状況

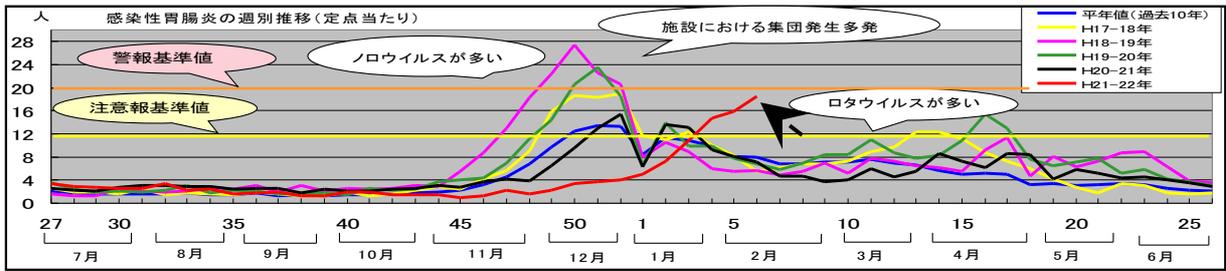
第6報（2010年2月8日～2010年2月14日）



感染性胃腸炎：今週18.50（注意報値：12.00 警報値：20.00）

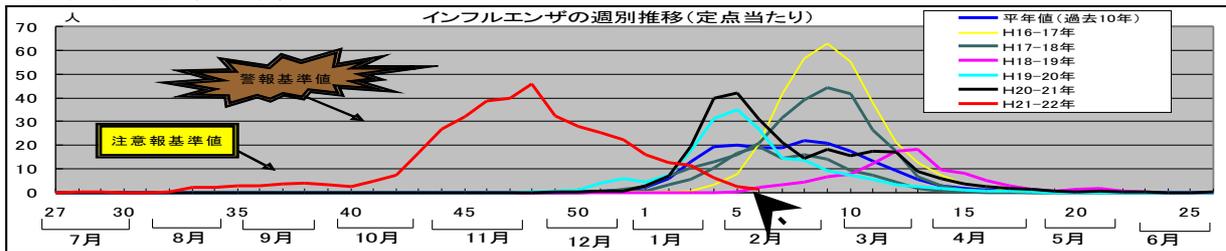
安芸と中央東で減少し，中央東では注意報値を下回ったが，安芸と高幡で注意報値，幡多，中央西，高知市で警報値を超している。総数はさらに増加し，警報値に迫る報告数となった。今週は中央西で1件Norovirusによる集団感染が確認された。また，搬入された検体からもNorovirus GIIが4件検出されており，今後も引き続き注意が必要である。予防策としては，帰宅時や食事前等の十分な手洗いとうがいが重要である。その他ノロウイルス対策として「高知県ノロウイルス対策マニュアル」が下記のホームページに掲載されているので，参考にして頂きたい。

<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/kansenshou/noro.html>



インフルエンザ：今週1.46（注意報値：10.00 警報値：30.00）

総数はさらに約1/2に減少した。現在のところ、高知県ではInfluenza virus AH1pdm（新型）のみで、季節性は検出されていないが、インフルエンザの流行シーズンであり、今後の動向にはまだ注意が必要である。施設別発生状況については、2月7日～2月13日の1週間で、患者数45名、4施設で学年・学級閉鎖の措置が取られている。



○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2歳女	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i> T-4
6	百日咳	4歳男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
51	ウイルス性咽頭炎	1歳女	中央東	Enterovirus
6	感染性胃腸炎	1歳女	高知市	Norovirus G II
6	感染性胃腸炎	1歳男	高知市	Norovirus G II
6	感染性胃腸炎	1歳女	高知市	Adenovirus 40/41
6	感染性胃腸炎	1歳男	中央東	Norovirus G II
6	感染性胃腸炎	1歳男	高幡	Norovirus G II

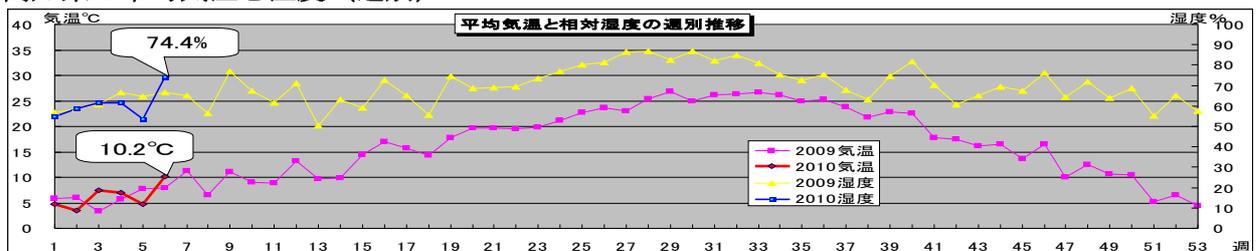
インフルエンザ（Influenza virus AH1pdmのみ）が10件検出された。

地域	年齢区分			総計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	
高知市	2	1	1	4
高幡		3	3	6
総計	2	4	4	10

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 2例（63歳女）《高知市》（84歳男）《中央東》（今年17例）
4類感染症：A型肝炎 1例（11歳女）《高知市》（今年1例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの3例は全てA型陽性 RSウイルス感染症患者多数入院
《さたけ小児科》：インフルエンザの2例中1例はA型陽性 マイコプラズマ感染症 3例（2, 8, 13歳女）
感染性胃腸炎が1～7歳を中心に流行が続いている。脱水症のため輸液をする人も多い。

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの2例（兄妹）はA型陽性、予防接種歴なし
マイコプラズマ肺炎 2例（3歳女，11歳男） RSウイルス感染症が多い
カンピロバクター腸炎 2例（2歳女，5歳男）

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの1例（37歳男）はA型陽性

中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの1例はA型陽性

《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（5歳男）は津野町，1例（5歳男）は須崎市，
1例（5歳女）は高知市

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの2例はA型陽性

《高北病院内科》：インフルエンザの2例は予防接種歴なし

高知市：

《福井小児科・内科》：インフルエンザの9例は全てA型陽性

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの2例はA型陽性 帯状疱疹 1例（7歳女）
病原性大腸菌O-18 1例（8歳女）

《塩見クリニック》：インフルエンザの2例はA型陽性

《細木病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの3例中2例はA型陽性

《近森病院内科》：インフルエンザの3例中2例はA型陽性

中央東：

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの1例はA型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの4例は全てA型陽性

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの1例はA型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの1例（27歳女）はA型陽性

安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの1例はA型陽性

全国情報第4週（1/25～1/31）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核244例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症19例（有症者12例、うちHUSなし）

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎2例、つつが虫病6例、デング熱2例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、類鼻疽1例、
レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎（C型）1例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群8例（AIDS 1例、無症候7例）、梅毒12
例、風しん1例、麻しん5例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、腸チフス1例、パラチフス1例、E型肝炎1例、日本紅斑熱4例、ライム病1例、レジ
オネラ症1例、急性脳炎11例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、風しん2例

◆インフルエンザ

2010年第4週のインフルエンザの定点当たり報告数は6.46（報告数31,049）となり、前週の定点当たり報告数9.03よりも減少した。都道府県別では沖縄県（18.88）、山梨県（14.05）、福井県（13.41）、静岡県（12.15）、埼玉県（9.97）、愛知県（9.58）、福島県（9.35）、栃木県（8.45）、三重県（8.33）、鹿児島県（8.28）の順となっている。定点当たり報告数は、青森県、秋田県を除く45都道府県で前週よりも減少がみられ、10.00を超えているのは4県となった。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数の推計値は約35万人（暫定値）と減少し、第28週以降これまでの累積の推計受診患者数は約2,006万人（暫定値）となった。性別では男性約1,037万人（51.7%）、女性約969万人（48.3%）であり、年齢群別では5～9歳約506万人（25.3%）、10～14歳約467万人（23.3%）、15～19歳約276万人（13.8%）、0～4歳約221万人（11.0%）、20～29歳約212万人（10.6%）、30～39歳約149万人（7.4%）の順となっている。60代および70歳以上では横ばいであるが、その他の年齢群は全て前週よりも減少した。但し、推計受診患者数は、受診患者数の多い医療機関がより多く選定されている傾向があることなどから、真の受診患者数より過大であると考えられている。この点を踏まえ、推計受診患者数についてはあくまで参考値として理解していく必要がある。患者報告数が増加し始めた2009年第28週以降では、2010年第4週までに、全国の地方衛生研究所から25,393件のインフルエンザウイルスの検出が報告され、AH1亜型（Aソ連型）18件（0.07%）、AH3亜型（A香港型）146件（0.57%）、B型9件（0.04%）、AH1pdm（新型インフルエンザウイルス）25,220件（99.32%）とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めている。また、2010年に入っても第1～4週までの4週間で検出・報告された857検体中、AH1亜型0件、AH3亜型0件、B型3件（0.35%）、AH1pdm 854件（99.65%）と、国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される状態が続いている。

国内の新型インフルエンザの流行は、現状では概ね減少傾向を示しているものと判断されるが、まだ各地域における散発的な流行は存在している。引き続き、季節性も含めたインフルエンザの発生動向には注意が必要であると思われる。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(5週)	高知県(6週末累計) H22/1/4~H22/2/14
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	1	14	38	5	3	9	70 (1.46)	134 (2.79)	20,481 (4.26)	2,445 (50.94)
小児科	咽頭結膜熱		1			1		2 (0.07)	1 (0.03)	432 (0.14)	4 (0.13)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	12	2	3	6	26 (0.87)	28 (0.93)	4,714 (1.56)	150 (5.00)
	感染性胃腸炎	30	61	230	72	31	131	555 (18.50)	475 (15.83)	42,173 (13.92)	2,170 (72.33)
	水痘		6	18	1	2	1	28 (0.93)	16 (0.53)	3,912 (1.29)	151 (5.03)
	手足口病				1			1 (0.03)	2 (0.07)	488 (0.16)	10 (0.33)
	伝染性紅斑				2			2 (0.07)	1 (0.03)	284 (0.09)	8 (0.27)
	突発性発疹	1	3		1	1	2	8 (0.27)	11 (0.37)	1,508 (0.50)	53 (1.77)
	百日咳								1 (0.03)	66 (0.02)	2 (0.07)
	ヘルパンギーナ									73 (0.02)	7 (0.23)
	流行性耳下腺炎						2	2 (0.07)	4 (0.13)	2,136 (0.71)	28 (0.93)
	RSウイルス感染症	2	13	66		7	11	99 (3.30)	120 (4.00)	4,511 (1.49)	427 (14.23)
	アフター性口内炎				1			1 (0.03)			13 (0.43)
	眼科	急性出血性結膜炎									6 (0.01)
	流行性角結膜炎						1 (0.33)			348 (0.51)	3 (1.00)
基幹	細菌性髄膜炎									9 (0.02)	
	無菌性髄膜炎									15 (0.03)	
	マイコプラズマ肺炎							1 (0.14)		117 (0.25)	3 (0.43)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									4 (0.01)	1 (0.14)
計 (小児科定点当たり人数)	34 (16.75)	101 (13.70)	367 (32.28)	82 (26.67)	50 (24.25)	161 (31.33)	795 (25.59)				
前週 (小児科定点当たり人数)	56 (24.00)	132 (18.23)	348 (29.87)	92 (27.87)	55 (23.75)	111 (21.38)		794 (24.76)	81,277		5,475 (151.70)

定点当たり 第6週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週
			中央東	高知市	中央西				
内科・小児科	インフルエンザ	0.25	1.27	2.38	1.00	0.75	1.13	1.46	2.79
小児科	咽頭結膜熱		0.14			0.50		0.07	0.03
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.43	1.09	0.67	1.50	1.20	0.87	0.93
	感染性胃腸炎	15.00	8.71	20.91	24.00	15.50	26.20	18.50	15.83
	水痘		0.86	1.64	0.33	1.00	0.20	0.93	0.53
	手足口病			0.09				0.03	0.07
	伝染性紅斑				0.18			0.07	0.03
	突発性発疹	0.50	0.43		0.33	0.50	0.40	0.27	0.37
	百日咳								0.03
	ヘルパンギーナ								
	流行性耳下腺炎					1.00		0.07	0.13
	RSウイルス感染症	1.00	1.86	6.00		3.50	2.20	3.30	4.00
	アフター性口内炎				0.33			0.03	
	眼科	急性出血性結膜炎							
	流行性角結膜炎					1.00		0.33	
基幹	細菌性髄膜炎								
	無菌性髄膜炎								
	マイコプラズマ肺炎								0.14
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								
計 (小児科定点当たり人数)	16.75	13.70	32.28	26.67	24.25	31.33	25.59		
前週 (小児科定点当たり人数)	24.00	18.23	29.87	27.87	23.75	21.38		24.76	

2010年週報推移(定点当たり)

